

C. -čU, -UUčU/-OOčU 習慣的行為、既定の行為

- (3) a. Mekke-ge bar-ču ziyaratči-lar
 メッカ-DAT 行く-PCTP.HAB 巡礼者-PL
 「メッカに行く巡礼者たち」(主名詞=主語)
- b. Siz-ge ber-čü suroo-m bar.
 2SG-DAT 与える-PCTP.HAB 質問-POSS:1SG ある
 「あなたに聞きたい質問があります」(主名詞=直接目的語)
- c. èj tez jür-üüčü poezd
 最も 早い 行く-PCTP.HAB 汽車
 「最も早く走る汽車」(主名詞=主語)
- d. biz jasooču iş
 1PL 作る.PCTP.HAB 仕事
 「私たちがする/するべき仕事」(主名詞=直接目的語)

2.1.2 与格名詞句の主名詞化

- (4) a. jooop ber-il-gen suroo-lor
 答 与える-PASS-PCTP.PST 質問-PL
 「答えられた質問」
- b. üy sat-ïp al-ar akča
 家 売る-CVB 取る-PCTP.FUT 金
 「家を買うお金」
- Cf. Bul akča-ga sat-ïp al. 「このお金で買いなさい」
 この お金-DAT 買う.IMP.2
- c. kat sal-uuču počta yaščig-i
 手紙 入れる-PCTP.HAB 郵便 箱-POSS:3
 「手紙を投函する郵便箱」(飯沼 1996: 159)

2.1.3 奪格名詞句の主名詞化

- (5) a. mal-din et-i-nen jasa-gan kolbasa
 家畜-GEN 肉-POSS:3-ABL 作る-PCTP.PST ソーセージ
 「家畜の肉から作ったソーセージ」(主名詞=目的語)
- b. kolbasa jasa-gan mal-din et-i
 ソーセージ 作る-PCTP.PST 家畜-GEN 肉-poss:3
 「ソーセージを作った家畜の肉」(主名詞=奪格名詞句)

2.1.4 場所・時間(位格)名詞句の主名詞化

- (6) a. kar kalıñ tüš-kön Čatkal
 雪 厚い 落ちる-PCTP.PST チャトカル
 「雪がたくさん降ったチャトカル(地名)」
- b. jašılča sat-uuču bazar
 野菜 売る-PCTP.HAB 市場
 「野菜を売る市場」

(6a, b) の主名詞は、修飾節に戻したとき、そのまま位格名詞句になる (*Čatkal-da*, *bazar-da*)。

これに対して、*jer* 「所」などの一般的な場所名詞や、*ubak/ ubakit/ kurak/ maal/ kez/ mezigil* 「時間、時期」、*zamat* 「瞬間」、*učur* 「機会」、*kün* 「日」、*ay* 「月」などの時間名詞は、位格接尾辞を付けただけでは修飾節中に復元することはできず、「この/その場所で」「この/その日に」など修正を加える必要がある。

- (7) a. èl jumuš-ka bar-aar maal
 人々 仕事-DAT 行く-PCTP.FUT 時間
 「人々が仕事に行く時間」(cf. Krippes 1998: 340)
- b. èl jumuš-ka ušul maal-da bar-a-t.
 人々 仕事-DAT この 時間-LOC 行く-PRES-3
 「人々はこの時間に仕事に行く」

(7) のような一般場所名詞や時間名詞は、第 3 節で述べる動名詞節による修飾も可能である(後述→(13))。

2.1.5 所有関係にある名詞句の主名詞化

- (8) a. köz-dör-ü bakıray-gan jigit
 目-PL-POSS:3 膨らむ-PCTP.PST 青年
 「目がはっきりした(=ハンサムな)青年」
- b. aynek-ter-i šaar-dī kara-gan jarık koridor
 窓-PL-POSS:3 街-ACC 見る-PCTP.PST 光 廊下
 「窓が街を(に)向いている明るい廊下」
 Cf. koridor-dun aynek-ter-i (廊下-GEN 窓-PL-POSS:3)「廊下の窓」

(8a) のような身体部位だけでなく、(8b) のように「X-GEN Y-POSS」の関係にある名詞句であれば、Y が主語となる分詞修飾節が X を主名詞として修飾できる。

2.2 外の関係

2.2.1 相対名詞

分詞による修飾節が、相対名詞を修飾する場合があるが、相対名詞の多くは属格/与格/奪格名詞句と結びつき、節が直接に相対名詞を修飾する形式をとらないので、(9)の *ald* 「前」などの用例に限られている。

- (9) *bul* *darī-nī* *ĵat-ar* *ald-ī-nda* *ič-iš* *kerek=pi?*
この 薬-ACC 寝る-PCTP.FUT 前-POSS:3-LOC 飲む-VN 必要=Q
「この薬を寝る前に飲まないといけませんか？」(飯沼 1996: 150)

2.2.2 相対名詞以外の「外の関係」にある主名詞を分詞節が修飾する場合

「跡」の意味を含む主名詞は、分詞節による修飾が可能である。この時、主名詞を修飾節中に復元することはできない。

- (10) a. *maŋday-ī-nda* *men* *ur-gan* *tirik* *kör-ün-üp* *tur-du.*
額-POSS:3-LOC 1SG 殴る-PCTP.PST 傷痕 見る-REFL-CVB AUX-PST.3
「(彼の)額に私が殴った傷痕が見えていた」
b. *baba-lar* *bas-kan* *iz*
先祖-PL 踏む-PCTP.PST 跡
「先祖たちが歩んだ軌跡」

「跡」の意味を含む名詞は、「自立性が本来的に低い」(寺村 1991: 250) 名詞類に属するので、相対名詞に準ずると考えてよいかもしれないが、*ald* 「前」、*art* 「後ろ」、*üst* 「上」、*ast* 「下」などの典型的な相対名詞に見られるような、「常に所有接尾辞を伴う」(*ald-ī*, *art-ī*, *üst-ü*, *ast-ī* など) という特徴は備えていない。

(→第3節で動名詞節による修飾を見たのち、第4節で改めて考察する。)

3. 動名詞節による名詞修飾

動詞を名詞化する接尾辞はいくつかあるが、そのうち動詞語幹に-*UUI-OO* が接続して作られた動名詞を主部とする節が名詞を修飾する場合がある。このとき、主名詞と「外の関係」にある修飾節を形成することができる。

- (11) a. *dayinsiz jogol-gon eki balikči-ni izdöö jiyintik/ jiyintig-i*
 不明 無くなる-PCTP.PST 2 漁師-ACC 探す.VN 結果 結果-POSS:3
 「行方不明になった二人の漁師を捜索の結果」(因果関係)
- b. *kursak-tagı bala-si-n jogot-uu korkunuč-u*
 お腹-にある 子供-POSS:3-ACC 無くす-VN 危険-POSS:3
 「お腹にいる子を失う危険」(内容)
- c. *dos-u-nu aeroport-ko čeyn uzat-uu ubada-si*
 友-POSS:3-ACC 空港-DAT まで 見送る-VN 約束-POSS:3
 「友達を空港まで送る約束」(内容)
- d. *jip üst-ü-ndö bas-uu önör-ü*
 糸 上-POSS:3-LOC 踏む-VN 技-POSS:3
 「綱の上を歩く技」(内容)

この時、動名詞を分詞に変えると (e.g. *izdöö* > *izde-gen*)、非文になる。

なお、主名詞には、直前の動名詞との修飾関係を示す三人称所有接辞が付くが、キルギス語においては義務的ではない (cf. 飯沼 1998: 44)。

第2節で述べた分詞節による名詞修飾との使い分けは、基本的には、「修飾節への復元可能性」の可否によって決まると考えられる。例えば、「学校を建てられない理由」という表現における主名詞と修飾節の関係は、意味的には「外の関係」にあるが、(12)に見るように、「その」という語を加える修正が必要なが、修飾節に復元することができ、分詞節による名詞修飾が可能である。

- (12) a. *azir mektep kur-a al-ba-gan sebep da*
 今 学校 建てる-CVB AUX-NEG-PCTP.PST 理由 も
jer masele-si-nde bol-up at-a-t.
 地 問題-POSS.3-LOC なる-CVB AUX-PRES-3
 「いま学校を建てられない理由も土地の問題である」
- b. *ošol sebep-ten mektep kur-a al-ba-di*
 その 理由-ABL 学校 建てる-CVB AUX-NEG-PST
 「その理由で(から)学校を建てられなかった」

同時に、動名詞による修飾節も不可能ではない：

- (12) c. mektep kur-a al-boo sebeb-i
学校 建てる-CVB AUX-NEG.VN 理由-POSS:3
「学校を建てられない理由」

このように、分詞による修飾節と共に、動名詞による修飾も不可能ではないという点で、*sebeb*「理由」という主名詞は、(11)のような、統語的にも「外の関係」にある主名詞とは区別されており、両者の境界域にあると言える。

さらに、2.1.4 で見た一般的な場所名詞や時間名詞を主名詞とする場合も、(12)の「理由」と同じく、修飾節中に復元する場合は「その」などを加える修正が必要であったが、やはり同様に動名詞節による修飾も可能である：

- (13) a. bala-ga at koy-uu uçur-u-nda...
子ども-DAT 名前 置く-VN 機会-POSS:3-LOC
b. bala-ga at koy-gon uçur-da...
子ども-DAT 名前 置く-PCTP.PST 機会-LOC
「子どもに名前を付けるときに…」

以上から、修飾節と主名詞の間では「内の関係」と「外の関係」が区別され、そこには「修飾節に（そのまま）復元できるかどうか」という基準が関わっており、その境界域に存在する用例があることが確認できる。

4. 「内の関係/外の関係」と分詞節・動名詞節

4.1 分詞の主語が属格で現れる場合

分詞の主語が属格で表示され、「外の関係」にある主名詞を修飾する場合がある：

- (14) a. aynek-tin sin-gan ün-ü
ガラス-GEN 割れる-PCTP.PST 音-POSS:3
「ガラスの割れる音」(ドゥイショノワ 2011)
b. sagizgan-din šakilda-gan ün-ü
カササギ-GEN 怒鳴る-PCTP.PST 音-POSS:3
「カササギの怒鳴る声」

この時、属格接尾辞と、主名詞の所有接尾辞を外して分詞修飾節の形にすると、非文になる：

(14) a'. * aynek sîn-gan ün
 ガラス 割れる-PCTP.PST 音

また、(14a, b) における属格名詞と分詞は、節を構成しているのではなく、分詞が（主名詞ではなく）属格名詞を修飾する関係にある可能性もあるが（語順が前後しているだけ）、意味的には不自然になってしまう：

(14) a". ? sîn-gan aynek-tin ün-ü
 割れる-PCTP.PST ガラス-GEN 音-POSS:3

「?割れたガラスの(立てる)音」

さらに、(15) の例では、(14a") と同じ語順が用いられ、(14a) と同じ語順の方がやや不自然になるので、やはり語順には意味があると考えなければならない。

(15) a. jājī biš-kan nan-dīn jīt-ī
 新しい 煮える-PCTP.PST パン-GEN 匂い-POSS:3

「新しく焼けたパンの匂い」

b. ? nan-dīn jājī biš-kan jīt-ī¹
 パン-GEN 新しい 煮える-PCTP.PST 匂い-POSS:3

以上から、(14) の構文は次のような修飾関係にあると考えられる：



「ガラスの割れた音」

(16) のような属格構造による分詞修飾節では、(17) のように意味の特殊化が見られる場合もあり、主格主語による分詞修飾節とは区別して考えるべきである：

(17) a. bala-m-dīn tuul-gan kün-ü
 子供-POSS:1SG-GEN 生まれる-PCTP.PST 日-POSS:3

「私の子どもの誕生日」

b. bala-m tuul-gan kün
 子供-POSS:1SG 生まれる-PCTP.PST 日

「私の子どもの生まれた(その)日」

¹ 本発表におけるキルギス語の文法判断には、キルギス語母語話者のシャミシエワ ナズグリさん（大阪大学言語文化研究科博士課程）の協力を得た。(15b) の例は、「当初は違和感があったが、何度も繰り返すうち適格な文のように思えてきた」とのことである。

結論として、属格主語を伴う分詞修飾節では、「外の関係」にある主名詞を修飾することができるということが出来る。言い換えれば、「XのY」という関係にあるときのみ、「XのVした/するY」という、Yを主名詞とする名詞修飾節を分詞によって作ることができる。

ちなみに、この「XのVした/するY」という構文は、「外の関係」「内の関係」の区別に関わらず、広く用いられる表現である：

- (18) a. *kurant saat-tin* *jañila-n-gan* *ün-ü*
 音楽時計-GEN 新しくする-REFL-PCTP.PST 音-POSS:3
 「音楽時計の新しくなった音」(内の関係:主語)
- b. *menin* *bışir-gan* *blinčik-ter-im*
 1SG.GEN 煮る-PCTP.PST クレープ-PL-POSS:1SG
 「私の作ったクレープ」(内の関係:目的語)
- c. *baba-lar-din* *bas-kan* *iz-i*
 先祖-PL-GEN 踏む-PCTP.PST 跡-POSS:3
 「先祖たちの歩んだ軌跡」(外の関係、cf. (10b))

4.2 結果随伴物が主名詞になる場合

2.2.2 節において、「跡」の意味を含む主名詞が、意味的には「外の関係」にあり、かつ修飾節に復元することができないのにも関わらず、分詞による修飾節が可能であることを述べた：

- (19) a. *mañday-i-nda* *men* *ur-gan* *tirik* *kör-ün-üp* *tur-du.*
 額-POSS:3-LOC 1SG 殴る-PCTP.PST 傷痕 見る-REFL-CVB AUX-PST.3
 「(彼の)額に私が殴った傷痕が見えていた」
- b. *baba-lar* *bas-kan* *iz*
 先祖-PL 踏む-PCTP.PST 跡
 「先祖たちが歩んだ軌跡」
 ((10)の再掲)

「跡」の意味を含む名詞の場合は、それらを相対名詞に準ずるものと考えられることによって分詞節による修飾を説明することもできるが、次のような、相対名詞とは言えない結果随伴物を表す名詞も分詞によって修飾することができる：

- (20) *mašina-m-di* *sat-kan* *akča*
 車-POSS:1SG-ACC 売る-PCTP.PST 金
 「私の車を売ったお金」

- (22) a. *čač-i* *uzun* *kiz-dar*
 髪-POSS:3 長い 少女-PL

「髪の長い女の子たち」

- b. *Kirgizstan* *taza* *suu-ga* *bay* *ölkö.*
 キルギスタン きれい 水-DAT 豊か 国

「キルギスタンはきれいな水が豊かな国だ」

特に (22a) は「所有関係 (X の Y) にある X の主名詞化」に該当する。この時は形容詞節による修飾が可能だが、(23) のような「所有関係 (X の Y) にある Y の主名詞化」では属格構造による名詞修飾しかできないという点でも分詞節と並行的である。

- (23) a. *kiz-din* *eñ* *čirayluu* *jer-i*
 少女-GEN 最も 美しい 所-POSS:3

「女の子の最も美しい所(長所)」

- b. * *kiz* *eñ* *čirayluu* *jer*
 少女 最も 美しい 所

5.2 存在詞節

最後に、名詞修飾節を形成できる要素として、存在詞 (*bar* 「ある/いる」、*žok* 「ない」) がある。

- (24) a. *mañday-i-nda* *tirig-i* *bar* *kičinekey* *bala*
 額-POSS:3-LOC 傷痕-POSS:3 ある 小さい 子ども

「額に傷のある小さな子ども」

- b. *adeb-i* *žok* *žigit* *žügön-ü* *žok* *at-ka* *okšoš,*
 礼儀-POSS:3 ない 青年 馬勒-POSS:3 ない 馬-DAT 似ている
 adeb-i *žok* *ayal* *kabanaak* *it-ke* *okšoš.*
 礼儀-POSS:3 ない 女性 癖の悪い 犬-DAT 似ている

「礼儀を知らない若者は手綱のない馬と同じ、
 礼儀を知らない女性は噛みつく犬と同じ」(諺)

以上

略号一覧

ABL 奪格 ACC 対格 AUX 補助動詞 DAT 与格 FUT 現在/未来 GEN 属格 HAB 習慣 LOC 位格 NEG 否定 PASS 受動接辞 PCTP 分詞 PL 複数 POSS 所有接辞 PRES 現在 PST 過去 Q 疑問 REFL 再帰接辞 CVB 副動詞 VN 動名詞接辞

参考文献

飯沼英三(1996)『キルギス語入門』. ベスト社.

寺村秀夫(1975-1978)「連体修飾のシンタクスと意味(1)-(4)」. 寺村(1992)所収.

寺村秀夫(1991)『日本語のシンタクスと意味 III』. くろしお出版.

寺村秀夫(1992)『寺村秀夫論文集 Iー日本語文法編』. くろしお出版.

ドゥイショノワ, ナリーザ ドルベコヴナ(2011)「キルギス語母語話者における名詞修飾節の使用状況—誤用のタイプから難しい用法を探る」. 『日本言語文化研究会論集』7号, pp.139-166.

Krippes, Karl A. (1998) *Kyrgyz-English Dictionary*. Kensington: Dumwoody Press.

Yudaxin, Konstantin Kuz'mič (1965) *Kirgizsko-Russkiy slovar'*. Moskva: Izdatel'stvo Sovetskaya enciklopediya.